

多様な世界における 社会課題を あなたはどう解決する？

新渡戸リーダーシップ・プログラム2024年度参加者募集要項

テーマ	多様な世界における社会課題をあなたはどう解決する？
概要	<p>あらゆる分野で多様化や技術革新、ボーダーレス化が進む今日、問題はより複雑化しているように見受けられる一方で、アイデアと意志があれば、個人が世界を変えられていくことができる時代が到来しているともいえます。</p> <p>更に進化した新渡戸リーダーシップ・プログラムは、自ら考え、社会課題を解決する将来のリーダー育成に向け、充実の講師陣による講義に加え 160 名の卒業生のネットワークで、あなたの活動をサポートします。「国際関係・地域研究・地政学」「社会システム・ガバナンス・イノベーション」「文明論・哲学」「アート・デザイン」という 4 つの国際文化会館の柱をもとに多様なテーマの講義を準備しております。</p>
参加資格	<p>社会的な課題に対し革新的な視点や方法で取り組んでいる、または取り組もうとしている 45 歳までの方。業種や職種、経験、国籍は問いません。基本、講義は日本語ですが、英語で講師に質問が可能な方（英語ネイティブである必要はありません）。講義は基本対面式のため国際文化会館にて講義を受けることが可能な方。</p> <p>ウェブサイトにてプログラム詳細と応募書類を確認・ダウンロードの上、Eメールで<nitobejuku_ihj(at)i-house.or.jp>宛てにお送りください。*(at)を@に変更のこと</p>
定員	12 名
参加費	<p>14 万円（講義、スペシャルセッション*、開講式・終了式開催費用、スタディツアー：南紀白浜における宿泊・交通費、食費分含む）</p> <p>※南紀白浜・関東近辺ツアー開催時の現地までの往復交通費はフェローが別途負担。</p> <p>※学生の方で支払いが難しい方は一部補助を検討いたしますので、その旨応募書類に記載ください。</p>
応募締切	2023 年 7 月 19 日(金)17 時 必着
応募書類	応募フォーム（指定フォームに入力）及び小論文（フォーマット自由、A4、2 枚以内、応募フォームとの内容重複可）* 提出物は PDF にして送ること
小論文 テーマ	<p>「自身が重要と考える社会課題と解決方法」（以下 4 点含む）</p> <p>①取り上げる課題と理由、②社会に与えるインパクト、③解決のために自身が果たせる役割、④解決にあたり使いたい国際文化会館のリソース（下記 URL 参照。候補者の問</p>

	題意識をうかがうための設問でご希望に沿えない場合もございます。 https://ihj.global/leadership/
面接日程	7月28日(日) (書類選考通過者のみ)

プログラム日程

9/7(土)	10:00am-12:00pm 1:00-5:00pm	開講式&オリエンテーション 細谷雄一 (国際文化会館理事; 慶応義塾大学教授) による イントロダクション・セッション 新渡戸フェロー同窓会 (参加推奨)
9/21(土)	2:00-4:00pm	講義①「激変する時代に必要な教育とは」 小林りん (ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン代表理事)
9/24(火)	6:30-8:30pm	講義②「Geopolitics 2024-2025」(仮題)* 英語セッション Bastian Giegerich (英国国際戦略研究所[IISS]最高経営責任者)
10/10(木)	7:00-9:00pm	講義③「労働供給制約時代の経営戦略」 富山和彦 (株式会社経営共創基盤 IGPI グループ会長)
10/19・20 (土・日)		南紀白浜スタディ・ツアー (空港と地方創生、南紀 IoT 推進についての講義とツアー、南方熊楠の思想についての講義、京都大学水族館訪問、熊野古道の歴史と世界遺産ツアー)
11/8(金)	6:45-8:45pm	講義④「未来を実装する」 馬田隆明 (東京大学 Found X ディレクター)
11/16(土)	午後 (調整中)	講義⑤「関係価値を形成するアートの力」 長谷川祐子 (金沢 21 世紀美術館館長)
11/29(金)	7:00-9:00pm	講義⑥「データにみる労働と新しい働き方」および「能登半島地震の現状と課題」 吉田浩一郎 (株式会社クラウドワークス 代表取締役社長 CEO)
12/14(土)	10:30am-1:30pm	講義⑦「大都市郊外の都市再生～課題先進地の現場から～」 藤村龍至 (建築家; 東京藝術大学准教授) @埼玉
12/21(土)	2:00-5:00pm	フェロー発表および修了式 (修了式後、懇親会)

注1 ※上記のほかフェロー決定次第、フェローの注力テーマに沿った「スペシャル・セッション」(任意参加)を1, 2回設定予定。 注2 ※プログラムや日程は、講師の都合などにより、変更になる場合があります。

助成：(一財)MRAハウス 協賛：(株)経営共創基盤、(株)クラウドワークス

メンターシップ制度：各フェローの問題意識やプロジェクトについて対話し、助言をするメンターを同窓生(現在166名)の中から依頼。月に1, 2回ほど現状考えているプロジェクトなどについてメンターと話し合い、助言をいただく機会があります。

問い合わせ：公益財団法人国際文化会館 プログラム部門 (担当：池田)

TEL: 03-3470-3211 E-mail: nitobejuku_ihj(at)i-house.or.jp

<https://www.i-house.or.jp/programs/activities/nitobejuku/>